

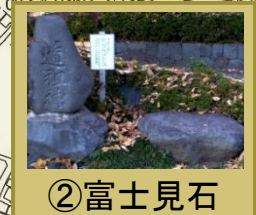
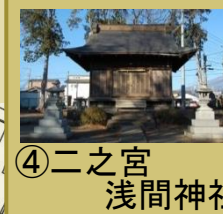
# H西 コース <大宮西地区>

## 旧大宮町西地区をめぐるコース

— みどころ —

浅間大社があり、その周囲には浅間大社に関する神社がある。江戸時代、この地区には浅間大社の社領地が広がり、その開発のために用水が開かれた。浅間大社とそれを取りまく町を歩く。

みどころポイント 寺社 卍 卍



市民文化会館 宮町14-2

**スタート**



**ゴール**

距離: 約5km 所要時間: 約2時間

マークの凡例: 観察ポイント ● 説明板 ▲ トイレ ⓘ 駐車場 P 寺院 卍 神社 卍 湧水 ● 季節の花 🌸 世界遺産「富士山」構成資産 W 石造物 ⓘ 番外のみどころ ● ルート —

## — コースのみどころ —

### ①芙蓉館碑

この周辺には、江戸時代、浅間神社(現富士山本宮浅間大社)大宮司富士氏の居館「芙蓉館」があったが、明治時代初め放火により焼失した。

### ②富士見石

武田氏に戦勝した織田信長が、帰路の途中この石に腰掛けて富士山を眺めたといわれる。

### ③富士山本宮浅間大社

国指定史跡「富士山」・世界遺産「富士山」の構成資産のひとつ。また、本殿は国指定重要文化財、拝殿・幣殿・楼門・透塀は県指定文化財、楼門左右の隨身像は市指定文化財、境内の湧玉池は国指定特別天然記念物である。コノハナサクヤヒメを祀る。社伝によると、大同元年(806)に山宮から現在地に遷されたという。現在の社殿は慶長11年(1606)に徳川家康が造営したものであり、なかでも本殿は二層からなる独特の「浅間造り」の様式で知られる。

### ④二之宮浅間神社

浅間神社祭神の第二御子神を祀る。一時浅間大社境内に移されたが、大正3年(1914)、現在地に再建遷座されたという。

### ⑤富知神社

「不二神社」・「福地明神」ともいわれ、平安時代には存在していたと考えられている。神社入口には、地蔵や富士亦八郎重本(⑫参照)筆の甲子碑などがある。

### ⑥渋沢用水

淀師の湧水を水源とし、市中心部を潤す。この付近では等高線に沿うように流れるため「横溝川」とも呼ばれる。

### ⑦大石寺道の道標

横溝川(渋沢用水)にかかる筋違橋のたもとに、大石寺(市内上条)に至る大石寺道の道標がある。ここから大石寺までの間には数基の道標が残されている。

### ⑧田町の道祖神

手を握り肩を組んだ双体道祖神である。ここは淀師から大中里方面に通じる古くからの道筋であり、昔は田んぼ村と通称された。

### ⑨西新堀用水取入れ口

淀川南公園の所で下川から取水する用水で、江戸時代後期、浅間神社社領地(現在の浅間大社から西町方面にかけての地域)の開発のために開削された。

### ⑩水神碑

西新堀用水の水神碑があり、その隣には神賀堂浅間の石祠がある。

### ⑪本光寺

大永5年(1525)「神田橋」付近に開かれたが、境内が手狭だったため現在地に移されたという。また、本光寺の灸は癩や中風しやくちゅうふうに効くといわれ、戦前は祭礼の際に番号札を用意するほど賑わったという。

### ⑫富士亦八郎重本筆跡の道祖神

幕末の浅間神社(現富士山本宮浅間大社)大宮司富士亦八郎重本が記した文字道祖神がある。

### 番外)富士山下山仏

富士高砂酒造には、明治初年の廃仏毀釈の際に富士山より降ろされたという仏像類が伝わっている。